

啓発活動

Training & Motivation

生命関連物質を取り扱う製薬界として、環境を守り、それを次世代に引き継ぐには、競争ではなく協働であたなくてはならないと考えています。製薬協環境安全委員会では会員会社の協力のもと、地球環境保全に関する情報の共有化を推進し、環境意識の向上と環境対策技術の普及に努めています。製薬協環境報告書の発行、「製薬協ニュースレター」への寄稿を定期的に行い会員会社への啓発活動を推進しています。

また、会員会社がアクセスできるPRAISE-NET（協会のイントラネット）では「かんきょうニュース」を掲載し、技術研修会等の実施報告や最新情報をタイムリーに情報発信しています。さらに、環境安全委員会で実施した技術研修会の詳細情報、各種調査報告書等の成果物は、年度分を取りまとめCD-Rで会員会社に配布しています。

1. 環境セミナー・技術研修会の実施

専門部会が中心となって、セミナーや技術研修会を企画、実施しています。このようなイベントには、環境安全委員会の委員や専門委員の他に会員会社の社員や、そのグループ会社の社

員も参加できるようにしています。（実施内容については20ページを参照ください）

2. 「製薬協 ニュースレター」への投稿

製薬協では2か月に1回、製薬協の活動を「製薬協ニュースレター」で会員会社および外部に提供しています。今年は、省エネルギーに関する自主行動計画の過去のトレンドと京都議定書発効を契機に、産業界、政府、国民一体となった温暖化防止対

策の運動が大きく進展し始めたことを含めて「地球温暖化防止への製薬協の取り組み」と題して9月号（109号）に掲載しました。今後は、容器包装リサイクル法に伴う業界の対応などを掲載する予定です。

3. 成果報告集の発行

製薬協の環境安全に関する活動の成果を会員会社と共有し、各社で役立てていただく為に、1年間の成果物を取りまとめ、CD-Rで会員会社に配布しています。2004年度は、各専門部会で

作成した15件の調査報告書やマニュアル等を集積し、2005年2月に発行しました。





■ セミナー・技術研修会

環境安全委員会で取り組んでいる課題について、会員会社およびその子会社等の環境安全への取り組みを支援するため、外部講師を招致して、行政の動向、環境技術等に関するセ

ミナーや技術研修会を開催しています。このようなイベントは、最新情報の提供に加えて、会員会社間および医薬品業界外との情報共有化に有効だと考えています。

第29回環境講演会(2005年4月15日)			
環境対策をめぐる最近の動き ～京都議定書、感染性廃棄物、そして「環境力」～	(株)環境文明研究所 環境文明21 加藤 三郎 氏		「環境力」を有している企業は、環境対策に優良であるだけでなく、経営全般にわたって元気ある企業になる、という持論を展開して頂きました。
技術研修会(2005年7月1日)			
「SAFE Fleet 活動の概要」 ～車両事故削減の取組～	ジョンク・インド・ジョンク(株) 岡田 信彦 氏 蒲 博史 氏	 	営業車輛の事故率を大幅に低減したJ&Jにおける安全運転の取り組みについてポイントを紹介頂きました。
NECの環境への取組 ～ITの活用～	日本電気(株) 須田 政弘 氏		LCA手法による環境負荷を定量評価、ITを活用した環境マネジメントシステム等、環境経営を進める効率的なツールを紹介して頂きました。
第9回省エネ技術研修会(2005年10月20・21日)			
省エネルギー対策と 省エネ法改正について	関東経済産業局 佐藤 深幸 氏		改正省エネ法のポイントと運用について詳細に解説して頂きました。
京都議定書目標達成計画	環境省 地球環境局 黒川 陽一郎 氏		京都議定書達成計画に基づき製薬会社が適切に行動するには、どうしたら良いかについて、多くの示唆を与えて頂きました。
事業所のCO ₂ 排出量算定検証と 国内排出量取引	(株)中央青山 サステナビリティ認証機構 大串 卓矢 氏		適正な検証のありかた、排出量取引に必要な要素、活用方法等に関して実践的でわかりやすく教えて頂きました。
グリーンオンサイト事業 (燃料電池ESCO)のご紹介	(株)ファーストエスコ 真鍋 裕子 氏 丸紅(株) 苅部 桂太 氏	 	イニシャルコストを抑えてCO ₂ 排出量削減ができるESCO事業の様々な活用法について紹介して頂きました。
省エネルギーアンケート報告	製薬協環境安全委員会 省エネ・温暖化防止部会 松林 正人 氏		日本経団連環境自主行動計画フォローアップに準じた製薬協アンケート調査結果の分析が報告されました。
京都議定書総合対応研究会報告	製薬協環境安全委員会 省エネ・温暖化防止部会 中嶋 和夫 氏		京都議定書達成計画等、政策と自主行動をマッチングさせた、製薬企業の適切なGHG排出削減対策のありかたに対する提言の中間報告が発表されました。
マテリアルフローコスト会計	田辺製薬(株) 河野 裕司 氏		CO ₂ 排出量削減にも対応可能なマテリアルフローコスト会計のシステムとその活用について講演して頂きました。
58回環境安全委員会幹事会(2005年10月28日)			
2005年度 東京都重点事業 ICタグによる医療廃棄物追跡事業	東京都環境局 廃棄物対策部 阿部 貞弘 氏 東京都環境整備公社 上田 忠彦 氏	 	東京都環境整備公社が病院・廃棄物処理業者と連携して実施しているICタグを利用した感染性廃棄物の適正処理事業の現状と今後の展望について講演して頂きました。

※2004年4月～11月に開催したセミナー等は、「製薬協環境報告書2004」に記載しています。